

鹿児島地区漁業士会による“白菊保育園”での出前授業

令和2年10月9日(金)
水産技術開発センター 企画・栽培養殖部

鹿児島地区漁業士会は、今回は、鹿児島市吉野町にある白菊保育園を訪ね、昨年
に引き続き2回目となる食育支援プログラムを実施しました。

まず最初に、鹿児島地域振興局の大山技術主査が若い園児達でも分かりやすいお
手製のラミネートを見せながら、オサカナのお話をしました。

次に、プロのお魚屋さんが、マダイについて分かりやすく説明しながら、鮮やか
な解体実演を披露しました。

その後で、園児達はタッチ用に準備されたブリやホウボウなどの様々な種類の魚
をワイワイ・キャーキャー騒ぎながら触った後、キビナゴを手で捌いたり、カツオ
の腹皮をセラミック包丁でカットしました。

この間に、捌き方教室に参加した6名の父兄は、プロのお魚屋さんから直接、マ
アジを使った捌き方にチャレンジし、楽しそうに悪戦苦闘していました。

お昼ご飯用に、園児達がキレイ?に捌いたキビナゴは、今回、助っ人で参加した
指宿市岩本漁協女性部の川畑とも子部長ら3人のベテランが調理しました。

待ちに待った昼食は、キビナゴのフライとカツオ腹皮のソテーにサバの缶詰の炊
き込みご飯とマダイの味噌汁でしたが、炊き込みご飯をお代わりする園児も沢山い
て大好評でした。

- 1 日 時……令和2年10月8日(木)10:00~13:00
- 2 場 所……白菊保育園/鹿児島市吉野町
- 3 対 象……3~5歳児35名+父兄等6名/約40名
- 4 内 容……サカナの話、マダイ捌き実演、キビナゴ捌き体験、魚タッチ
- 5 試 食……キビナゴフライ、カツオ腹皮ソテー、サバ缶詰炊き込みご飯、マダイ味噌汁

